

12  
DECEMBER

2018  
VOL.11

W h i s k y  
Galore

[ウイスキーガロア]

1608

[大特集]

# Irish Whiskey

アイリッシュウイスキー特集 [第4弾]

[特集]

ようこそ ウイスキー検定の世界へ  
Whisky Kentei

[連載]

全国ぶらり旅 岐阜・大垣・郡上八幡編



# ムートンばりの究極のジャケ買い： になったらしいな、 SAKÉ女のオリジナル・アーティストラベル シリーズ第1弾「情け嶋・芋」

シャトー・ムートン・ロートシルトは、ラベルに有名アーティストの作品を用いることで知られている。1947年

はコクトー、58年ダリ、69年ミロ、70年シャガール、73年ピカソ、75年ウォーホル、79年は日本人の堂本尚郎だ。93年のバルテュスは裸体の少女の絵で話題になり、記念すべき2000年はあえてラベルではなく彫刻だったので「2000年ムートンのエチケットを高額販売！」などというブラックなジョークが生まれたりもした。2013年、初の韓国人作家、リ・ウーハンのラベルは、シンプルだけに見えるほどに吸い込まれそうな形と色、どこか温かく、不思議に微笑みかけたくなる作品だ。

これを見て思いついてしまった。日本産のお酒でもアーティストラベルシリーズができないかと。私が代表を務める「(一社)日本のSAKÉとWINEを愛する女性の会」は、SAKÉ女(サケジヨ)と呼ばれる、お酒を愛し、お酒でもてなしができる人の集団である。本場において、本気でオスス

ズ・チョイスの日本産酒版みたいな商品群。アーティストはもちろん女性で…と妄想していたら、あらあら、本場にできちゃった。

「SAKÉ女オリジナル・アーティストラベルシリーズ」情け嶋・芋」がそれ。中身は東京都八丈島の芋焼酎。Made in TOKYOの本格焼酎だ。ラベルは、新進気鋭の女性作家、古川都恵さん。さまざまな素材に「点」と「線

で作品をつむぎ出す抽象画家で、銀座の画廊にて紹介された大型作品『業しさがあふれ出る山 富士山』の圧倒的な迫力に一目惚れ。絵画の山は富士山だけど、どことなく八丈富士のようにも見え縁を感じラベルにしたいと即座にお願いした。

購入は八丈島の酒販店さんをはじめとした限られた店でしかできないが、飲める店は、八丈出身の大将と女性スタッフがサービスしてくれる「春夏秋冬 おじゃれ」(田町)がある。九州勢の芋焼酎と違い、麦麹から生まれる東京の芋焼酎は、軽快ながら香ばしく、まるでカカオやモンブランみたいに心地よく甘い後味がある。八丈から届く明日葉の天ぷらももちろん、くさやチーズとも相性はぴったり。SAKÉ女

のセレクトに感動してもらえることが嬉しいだ。

このアーティストラベルシリーズ、今後中身は、日本酒やワイン、ビールやウイスキーになることもある。すべてのお酒を愛するSAKÉ女のセレクトだからね。いつか、ムートンみたいに究極のジャケ買いをしてもらえるように育てたいと思っている。

ともだあきこ ソムリエとして酒類業界に携わり、ワイン・日本酒・焼酎・ビール・カクテルと幅広く精通。一般・プロ向けセミナー、料理店・ホテル旅館等へのコンサルティング、経営PR文提等を行う。2016年より一般社団法人日本のSAKÉとWINEを愛する女性の会(総務部)・SAKÉ女の会 代表理事。最新刊の著書「ツウになる!日本酒の教科書」ツウになる!ウイスキーの教科書」が2月に発売。

Photo by Ayumi Fujita



**春夏秋冬 おじゃれ**  
 〒108-0014 東京都港区芝5-24-7  
 ☎03-3452-5685  
 月~金: 17:00 ~ 22:30 (L.O.)  
 土: 17:00 ~ 22:00 (L.O.)  
 定休: 日、祝日

料理歴の長い大将が、八丈島から届いたばかりの食材を丁寧に提供してくれる。お酒は女性スタッフ「さきさん」の説明でよりおいしく。SAKÉ女の酒のみならず、伊豆七島の芋や麦焼酎を中心に、全国の焼酎、日本酒をお手ごろに楽しめる。